



新学期にあたって

校長 中 島 英 治

カムイヌプリの残雪も姿を消し、すっかり春らしい季節となりました。4月6日に举行了入学式では、35名の新入生をお迎えし、令和5年度の西陵中学校は、全校生徒116名と教職員23名でスタートすることができました。保護者の皆様のご参集、誠にありがとうございました。

さて、この入学式では、新入生に対して次の3点について、お話ししました。

1. 目標に向けて、失敗を恐れずに挑戦しましょう。

何かに挑戦しようとするとき、人は誰でも不安になるものです。そんな時に大切なのは、一歩前に足を踏み出す勇気です。失敗してもかまいません。人は失敗を繰り返すことで成長します。「こうありたい」と願う自分の姿をイメージしながら、規則正しく目標をもった生活を送り、努力を怠らず、自分の可能性を信じて挑戦を続けてください。

2. 仲間とともに学び、高め合いましょう。

しっかりと予習・復習をして授業に臨むことはもちろん、新しい時代を生き抜くために必要な力を身に付けるためには、仲間とともに学び合い、支え合うことが必要です。思いやりや感謝の心、人権を守る姿勢など、「時代を超えても変わらない価値のあるもの」も人とのつながりの中から学んでください。

3. お互いの違いを認め合いましょう。

いじめや差別、人の心や体を傷付けることは絶対に許されません。悩みや不安があれば、一人で悩まずに、友だちやご家族、先生に相談してください。とくに自分の命に関わることは、必ず大人に相談することを約束してください。先生方は、全力であなたを守り抜きます。先生方をはじめ、周りの大人を信じてください。

以上の三つを心にとめ、自分自身を磨き、笑顔と活気にあふれる、充実した中学校生活を過ごしてくれることを期待しています。

③規則正しい生活をする事、以上の3点をお願いしました。入学式や始業式でお話した内容は、子どもたちの課題であるとともに、私たち教職員の課題であるとも思っております。気を引き締めて今年度の教育活動を進めてまいります。

さて、最近、SNSに自殺願望を書き込んだ中学生が命を落とす事件や中学校に刃物を持った少年が侵入して教員を切り付けた事件など、中学生を巻き込んだ事件・事故が全国で発生しております。本校の校区におきましては、各地区町内会の皆様や民生委員児童委員、青少年健全育成協議会の皆様などが、様々な「子どもたちの見守り活動」を行っていただいておりますことに深く感謝申し上げます。本校におきましても、防犯、防災、交通安全指導、インターネットの正しい利用方法、薬物乱用防止教室等、年間を通じて計画的に子どもたちの健全育成を目指した取組を実施してまいります。

保護者、地域の皆様には、今年度も本校生徒の健やかな成長のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

★4月1日付着任 校長からのご挨拶——



校長 なかじま えいじ
中島 英治

4年ぶりに戻ってきました。教頭として2年間勤務した学校に校長として勤務できる喜びをかみしめながら、本校教育目標の実現に向けて、教職員が一丸となった教育活動の推進と保護者や地域の皆さんとともにある学校づくりに努めてまいります。また、先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代を生き抜く力の育成をめざすとともに、人とのつながりや思いやり、感謝の心など、「時代を超えても変わらない価値のあるもの」を大切にしていきます。

御入学おめでとうございます。新1年生35名の入学を心より歓迎いたします。令和5年度の生徒数は次のとおりです。

【4月6日現在】

	A 組	B 組
第1学年	32名	
あすなる・つくし	3名	
第2学年	33名	
あすなる・つくし	2名	
第3学年	22名	24名
全生徒数	116名	

第1学年 合計 35名

第2学年 合計 35名

第3学年 合計 46名



子どもの変化に気づいたら

「学校で何かあったのかな?」「いじめかな?」など、子どもの変化に気づいたら、家庭でも子どもに声をかけてみましょう。子どもは家族からの「声かけ」を待っています。

- ・「よく話を聴く」ことがポイントです。最後まで丁寧に聴いてみましょう。
- ・思いを受け止める言葉が大切です。

「どうしたの?」
「よく話してくれたね。」
「大変だったね。」「つらかったね。」



悩んだり、困ったりしたら、一人で悩まず学校に相談しましょう。

- ・学級担任や養護教諭など、保護者が相談しやすい教職員に相談してください。
- ・学校にはスクールカウンセラーがいます。希望する場合は学校に相談してください。

学校と一緒に解決しましょう!

学校以外の相談窓口

- ・子ども相談支援センター
- ・北海道いのちの電話
- ・子ども人権110番
- ・少年サポートセンター
- ・こころの電話相談
- ・北海道こころの健康LINE相談 など



子ども相談支援センター(0120-3882-56)では、いじめ以外にも、不登校、親子関係、性的マイノリティ、性被害、ヤングケアラー等の相談もできます。

いじめについて考えてみよう

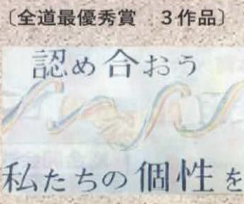
いじめ防止に向け、よりよい人間関係づくりに関する道内の児童生徒から募集した「メッセージ」を紹介していますので、ご覧ください。



絆づくりメッセージコンクール



みんな



認め合おう



飛べないけど泳げます

〔全道最優秀賞 3作品〕

なかまだ 私たちの個性を

思いやりをもって人と接しましょう。

☆☆☆ 十分気を付けて、走行ください ☆☆☆

昨年度より、登校時の様子を見ておりますと、体育館裏の道路を行き交う自動車の多さに驚く日もありました。降雪の心配は無くなりましたが、雨天時等による視界不良での交通事故の発生を心配しております。お子様の送迎時による通行の際は、十分対向車等に気を付けてください。可能な限り道道での乗降にご理解とご協力をお願いします。



自転車乗用時は「ヘルメット」を着用しましょう！

- 道路交通法等の改正が行われ、自転車であっても違反すると罰金などが科せられる可能性があるほか、令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対して、乗車用ヘルメット着用の努力義務が課せられます。
- ヘルメット非着用で自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部を損傷しています。家族ぐるみで自転車を利用する際の乗車用ヘルメットの着用に努めましょう。
- これからの季節は自転車を利用する機会が増えます。家庭で交通ルールやマナーについて話し合ってみませんか。



【お願い】 朝、8:00～8:10 は職員打合せを行っています。この時間を避けての欠席連絡にご協力をお願いします。新入生保護者の皆様は、さくら連絡網への配信メール登録(4/10 月〆切)にご協力をお願いいたします。